

令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	脳・認知・身体と言語コミュニケーションの発達：定型・非定型発達乳幼児コホート研究
研究代表者	皆川 泰代 (慶應義塾大学・文学部・教授) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、言語・コミュニケーション能力の獲得に、脳、認知、運動の機能発達がどのように関与しているか、発達障害を予測する生理学的、行動学的因子は何かを明らかにすることを目的としている。具体的には、自閉スペクトラム症（ASD）のリスクを持つ非定型発達と定型発達の乳児から幼児を対象に、脳機能、知覚・認知機能、運動機能を縦断的に計測するコホート研究を行おうとするものである。</p> <p>fNIRS (functional Near-Infrared Spectroscopy) 計測により言語発達の脳機構の解明を目指す点において学術的独自性が高く、国際的にも先端的な研究成果が期待される。また、臨床への応用も視野に入れており波及効果が大きいと判断できる。</p>